

研究機関名：旭川医科大学

作成年月日：2024年4月15日（第1.0版）

2025年4月27日（第2.0版）

2026年3月24日（第3.0版）

承認番号	(記入しない)
課題名	扁桃の基礎的、臨床的検討による扁桃疾患の発症機序の解明
研究期間	西暦2024年6月1日（実施許可日）～2029年3月31日
研究の対象	2000年1月～2024年6月（実施許可日）まで当科で扁桃摘出術を受けた患者さん
利用する試料・情報の種類	■診療情報（詳細：疾患、年齢、性別、手術日、検査データ、観察期間、手術後の病勢の推移等） ■手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：扁桃、皮膚、腎、骨組織等） ■血清
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
外部への試料・情報提供	■多施設共同研究グループ内 (提供先：森永乳業) (提供方法：森永乳業研究員が本社の研究室に持参) ■利用/提供予定日（開始日2024年7月1日）
研究組織	研究代表機関：旭川医科大学 研究代表者/責任者 耳鼻咽喉科・頭頸部外科講座 教授 高原 幹 共同研究機関：札幌東徳洲会病院 共同研究責任者：耳鼻咽喉科医師 <u>駒林 優樹</u> 共同研究機関：森永乳業株式会社 共同研究責任者：研究本部 基礎研究所 所長 田中 美順
研究の意義、目的	扁桃肥大、習慣性扁桃炎、扁桃病巣疾患（掌蹠膿疱症、胸肋鎖骨過形成症、IgA腎症など）などは扁桃摘出術（扁桃を取る手術）により症状が良くなりますが、扁桃でどのようなことが起こり、病気が発症するのか解っていません。私たちはそれらの原因の明らかにするために研究を行っています。以下の説明を読まれ、本研究に対する主旨をご理解して頂き、ご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。
研究の方法	扁桃摘出術で切除された扁桃や手術の前後で採取された血液を試料として研究します。診断するため腎生検、皮膚生検、骨生検が行われた患者さんの場合、その組織を利用することもあります。患者さんの診療情報と照らし合わせ扁桃摘出術の有効性や適応、新しい治療法の開発研究などを行います。
その他	当研究の一部は、共同研究契約を締結する森永乳業株式会社から研究費を受け入れて行われますが、本研究の利害関係については旭川医科大学利益相反審査委員会の審査と了承を得ています。また、本研究の経過を定期的に旭川医科大学利益相反審査委員会へ報告等を行うことにより、研究者と企業との利害関係

	<p>について適正にマネジメントし、公平性を保ちます。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 研究責任者、代表者：高原 幹 所属：旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 郵便番号、住所：078-8510、北海道旭川市緑が丘東2条1丁目 電話番号：0166-68-2554</p>